運転の内容	もっと詳しく

ハウスキープ

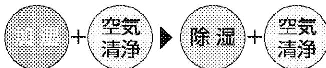
加湿運転後、不要になった湿気を取り除くために除湿運転を行います。

- お部屋に人がいないときにご使用されることをおすすめします。

◙ ハウスキープ

運転ランプ 橙→黄

運転モード



風量

自動になります

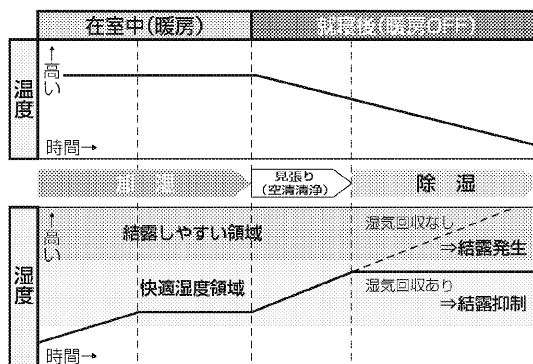
水タンクに入れる水の量は、水タンクの表示にしたがってください。▶17ページ

<おすすめ時期>
結露が気になる季節に

湿度を見張って湿気回収

- 就寝後、室内温度が下がって相対湿度が上昇し、結露が発生しやすい状況になると、自動的に除湿運転を開始します。
- 相対湿度が上昇しない場合は、除湿運転に入りません。
- **除湿運転後は加湿運転を行いません。加湿運転を行う場合は、水タンクの水を交換してから、水交換リセットボタンを押して運転してください。**
- 除湿運転していても外気に面した窓ガラスや風通しの悪い場所(家具の裏側など)は結露したりカビが発生することがあります。
- 除湿運転中はヒーターを使用するので、室内温度が上昇することがあります。▶6ページ

■ハウスキープの運転イメージ



水de脱臭

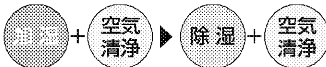
加湿運転と除湿運転を自動で切り換えて、お部屋にしみ付いたニオイをしっかり取り除きます。

- お部屋に人がいないときにご使用されることをおすすめします。

◙ 水 de 脱 臭

運転ランプ 橙→黄

運転モード



風量

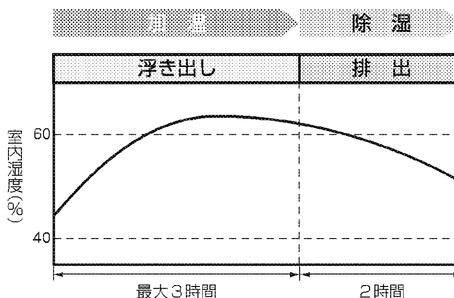
「強」または「ターボ」を選ぶ

水タンクに入れる水の量のめやすは、ハウスキープ運転給水位置です。▶17ページ

<おすすめ時期>
オールシーズン

- 壁(布)の中にしみ付いたニオイをお部屋の湿度を高くすることで浮き出させ、出てきたニオイを湿気と一緒に取り除きます。
- 水de脱臭運転を開始してから最大約5時間運転します。
  水de脱臭運転を開始してから約3時間後に「加湿」から「除湿」に切り換わります。
- お部屋の環境によりニオイを浮き出させる時間が異なる場合があります。
- 除湿運転中はヒーターを使用するので、室内温度が上昇することがあります。▶6ページ

■水 de 脱臭の運転イメージ



お手入れ早見表



お手入れの前には必ず運転を停止し、電源プラグを抜く。
（感電やけがの原因）

お手入れの際の各部品の取外しは、数字の順番に行ってください。

対向極板

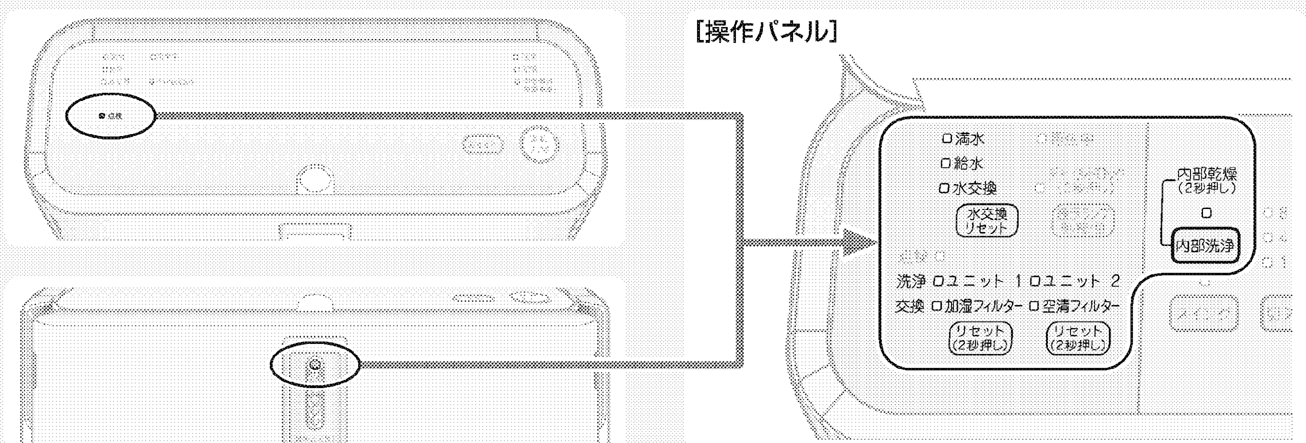
イオン化枠

イオン化線

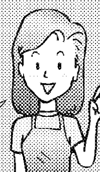
1 前面パネル	2 プレフィルター	3 ユニット1（プラズマイオン化部）	4 ユニット2（ストリーマユニット）
		（上図は対向極板を取り外しています。）	
汚れの気になるときに	2週間に１度	「ユニット１」ランプが点灯したら	約3ヵ月に1度または「ユニット２」ランプが点灯したら
ふき取り	掃除機　水洗い	つけおき　ふき取り	つけおき　ふき取り
▶28ページ	▶30ページ	▶32, 33ページ	▶32, 33ページ

点検ランプまたはおしらせランプが点灯したら、操作パネルでお手入れ箇所を確認してください。

● 加湿フィルターランプ、空清フィルターランプ、ユニット１・２ランプ、満水、給水、水交換ランプ、内部洗浄／乾燥ランプのいずれかが点灯・点滅しています。（満水、給水、水交換ランプ点灯時、点検ランプは点灯しません。）



各部のお手入れのしかたは
▶28～40ページ を参照してください。

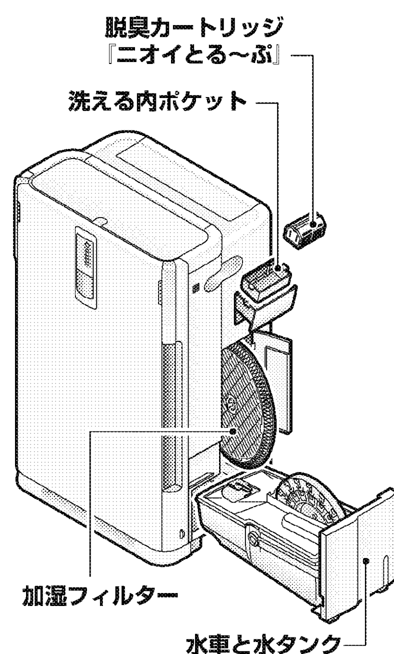


5 空清フィルター（プリーツフィルター）	6 脱臭触媒ユニット	7 バイオ抗体フィルター	本体・センサー用空気取入れ口
「空清フィルター」ランプが点灯または点滅したら	汚れの気になるとき	別売品 開封後約１年で	センサー用空気取入れ口 ホコリなどがたまったら
交換	掃除機 水洗い不可	交換	掃除機 ふき取り
▶34ページ	▶29ページ	▶16ページ	▶28ページ

脱臭カートリッジ「ニオイとる～ぷ」	洗える内ポケット
洗剤不可 汚れやホコリなどがたまったら	汚れの気になるとき
掃除機 つけおき	水洗い
▶29ページ	▶29ページ

加湿フィルター	水車と水タンク
１ヵ月に１度またはニオイや汚れが気になるとき	１ヵ月に１度またはニオイや汚れが気になるとき
つけおき	水洗い
▶36ページ「加湿フィルター」ランプが点灯または点滅したら交換してください。▶37ページ	▶35ページ

本体内部
内部洗浄／乾燥ランプが点滅したら
内部洗浄運転
▶38, 39ページ
加湿運転や除湿運転の後に
内部乾燥運転
▶40ページ



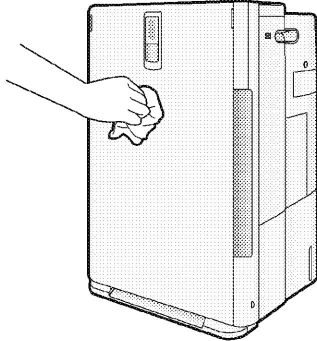
各部のお手入れ

前面パネルの掃除 ふき取り

- 水で湿らせた布またはティッシュなどで汚れをふき取ってください。
- 汚れがひどいときは液体中性洗剤を含ませた布で汚れをふき取ってください。
（洗剤が残らないようふき取ってください。）

硬いタワシなどを使用しない

傷の原因になることがあります。

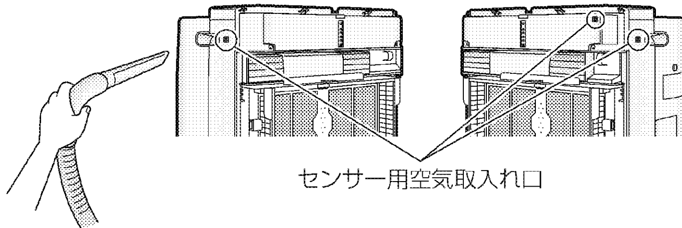


⚠ 警告

- ガソリン、ベンジン、シンナー、ミガキ粉、灯油、アルコールなどは使用しない。
（ひび割れ・感電・引火の原因）
- 本体を水洗いしない。
（感電や火災・故障の原因）

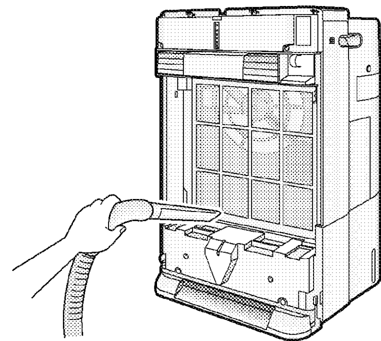
センサー用空気取入れ口の掃除 掃除機
（ホコリ・ニオイ・温度・しつどセンサー）

- 掃除機のすきま用ノズルなどを使用して、センサー用空気取入れ口に付着したホコリを吸い取ってください。



本体の掃除 掃除機 ふき取り

- ホコリなどがたまったら、掃除機で吸い取ってください。
- 本体は水で湿らせた布またはティッシュで汚れをふき取ってください。
- 汚れがひどいときは液体中性洗剤を含ませた布で汚れをふき取ってください。
（洗剤が残らないようふき取ってください。）

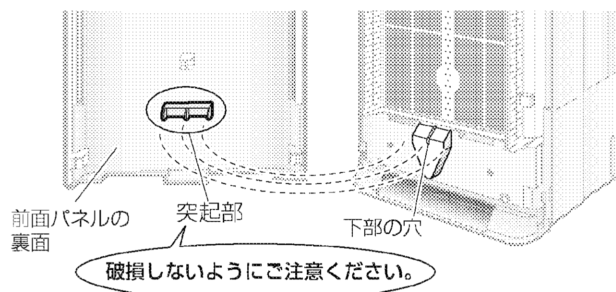


お願い

- 取り外した前面パネルは、表面が傷付いたり、裏面の突起部が破損しないように注意してください。

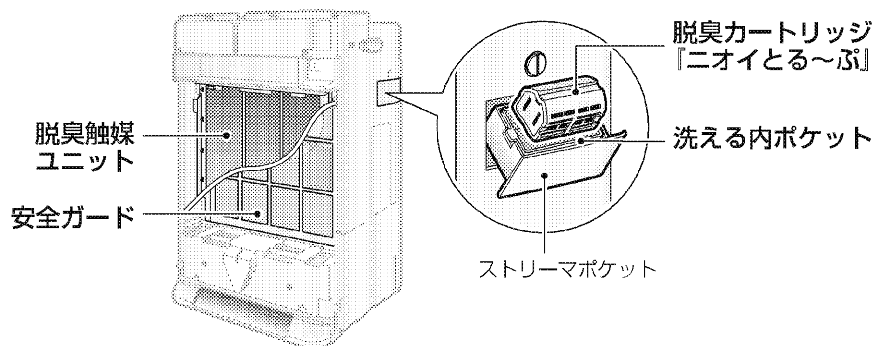
裏面の突起部は、パネルを開くと電源が「切」になる安全スイッチの役目をしています。

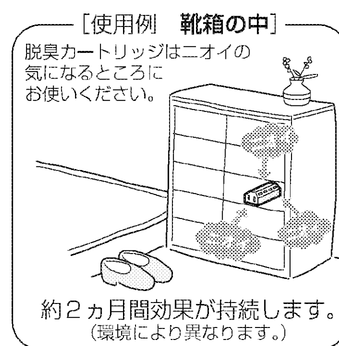
破損しますと、運転ができなくなりますのでご注意ください。



⚠ 警告

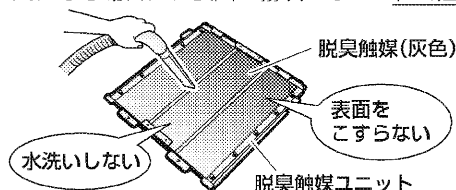
- 本体下部の穴の奥には触れない。
（感電のおそれ）
- 誤って破損し、運転できなくなった場合は、お買い上げの販売店またはダイキンお客様ご相談窓口にご相談ください。▶49ページ





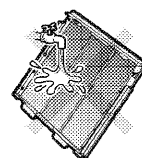
脱臭触媒ユニットの掃除　掃除機　水洗い不可　交換不要

- 脱臭触媒ユニットを外して掃除機でホコリを吸い取ってください。
- 脱臭フィルター（灰色の部品）の表面をこすらないでください。
- 脱臭触媒ユニットの取外し・取付けかたは、「フィルターを取り付ける」を参照してください。▶15, 16ページ
- 脱臭触媒ユニットの枠（青色の部品）の汚れが気になる場合は、水で湿らせた布またはティッシュなどでふき取ってください。
  汚れがひどいときは、液体中性洗剤を含ませた布で汚れをふき取ってください。
  （洗剤が残らないようふき取ってください。）
- ニオイが気になる場合は、表面を霧吹きなどで軽く湿らせてから風通しのよい日陰で乾燥させてください。（約１日）



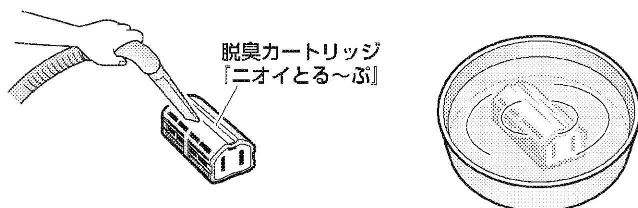
水洗いしない

水洗いすると型くずれして
使用できなくなります。



脱臭カートリッジ『ニオイとる～ぷ』の掃除　掃除機　つけおき　洗剤不可

- ホコリなどがたまったら、掃除機で吸い取ります。
- 脱臭カートリッジの汚れが気になる場合は、ぬるま湯または水につけおきし（約 10 分）、
  水気を切り、風通しのよい日陰で乾燥させます（約 1 日）。

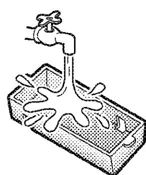


⚠ 注意

- 脱臭カートリッジ『ニオイとる～ぷ』は分解しないでください。
- 洗剤、薬品などは使用しないでください。
  （脱臭能力が低下します。）

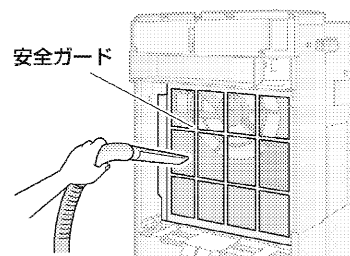
洗える内ポケットの掃除　水洗い

- 洗える内ポケットは取り外して洗うことができます。
- 汚れが気になるときや、設置場所の異なる脱臭カートリッジを再生するときは水洗いしてください。
- 汚れがひどいときは、やわらかいブラシや液体中性洗剤を使って洗い、洗剤が残らないように十分すすぎ洗いをしてから風通しのよい日陰でよく乾かしてください。



安全ガードの掃除　掃除機

- ホコリなどがたまったら、掃除機で吸い取ります。



⚠ 注意

安全ガードは外さない。
（感電・けがの原因）

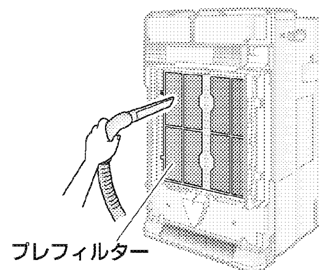
各部のお手入れ

プレフィルターの掃除 掃除機 水洗い （2週間に１度がめやす）

1 **前面パネルを外す。** ▶15ページ

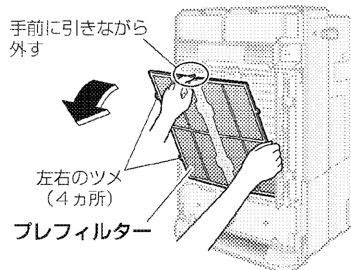
2 **プレフィルターを掃除する。**

● 掃除機でホコリを吸い取る。

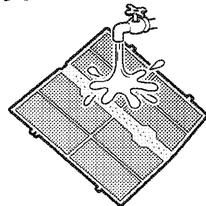


3 汚れがひどいとき
プレフィルターを水洗いする。

● プレフィルターの上部の凹部に指を引っかけて手前に引き、プレフィルターの左右のツメ（４ヵ所）をユニット１の左右の穴（４ヵ所）から外す。



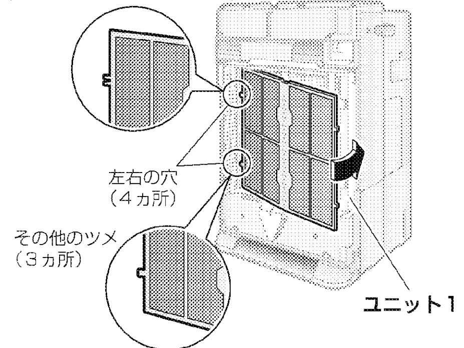
● やわらかいブラシや液体中性洗剤を使って洗い、洗剤が残らないように十分すすぎ洗いをしてから日陰でよく乾かす。



水滴が残っていると「ユニット １」ランプが点灯する場合がありますので、十分に乾かしてからご使用ください。

4 **プレフィルターを取り付ける。**

● プレフィルターの左右のツメ（４ヵ所）をユニット１の左右の穴（４ヵ所）に合わせて差し込む。



5 **前面パネルを取り付ける。** ▶16ページ

前面パネルが正しく装着されていないと安全スイッチが作動し、運転しない場合があります。 ▶28ページ

ユニット1（プラズマイオン化部）の取外し・取付け

⚠ 注意

対向極板の取外し、取付けの際は**ゴム手袋**を使用してください。対向極板、イオン化線で手を切るおそれがあります。

取外し

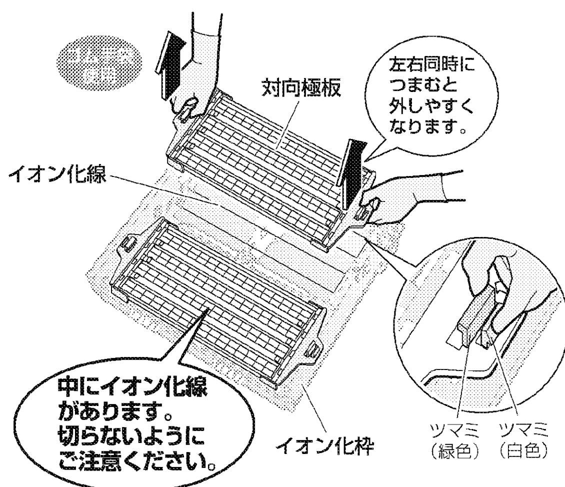
1 前面パネルを外す。 ▶15ページ

2 プレフィルターを外す。 ▶30ページ

3 ユニット1を外す。 ▶15ページ

4 ユニット1の裏側にある対向極板を外す。

- 白色と緑色のツマミ部（左右2ヵ所）を同時につまんで、対向極板を持ち上げて外す。

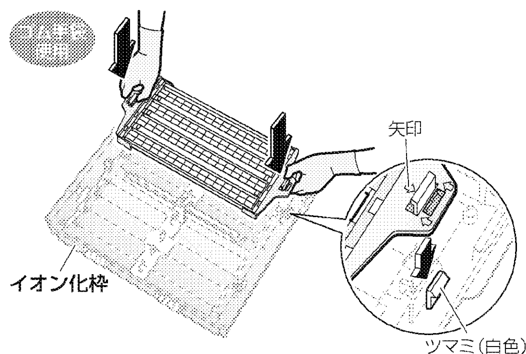


取付け

1 対向極板を取り付ける。

①イオン化枠のツマミ（左右2ヵ所）に対向極板を差し込む。

対向極板には上下・左右の区別はありません。矢印が見える状態で取り付けてください。



②「カチッ」と音がするまで確実に押し込む。

③もう片方の対向極板も取り付ける。

2 ユニット1を取り付ける。 ▶16ページ

3 プレフィルターを取り付ける。 ▶30ページ

4 前面パネルを取り付ける。 ▶16ページ

各部のお手入れ

ユニット1(プラズマイオン化部)・ユニット2(ストリーマユニット)の掃除

お手入れのめやす	洗浄 ■ユニット 1 ■ユニット 2 ユニット1：「ユニット1」ランプが点灯したら ユニット2：約3ヵ月に1度または「ユニット2」ランプが点灯したら
お手入れのしかた	つけおき ふき取り

汚れが気になる場合は、「ユニット1・2」ランプが点灯していなくてもお手入れしてください。

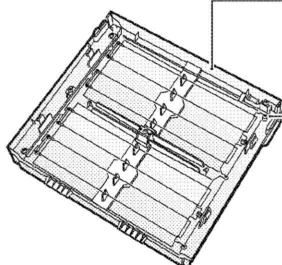
⚠ 注意

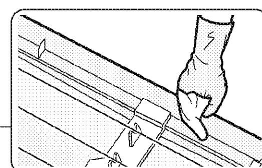
- お手入れの前には必ず運転を停止して電源プラグを抜いてください。
- ふき取りやこすり洗いの際は、**ゴム手袋**を使用してください。対向極板、イオン化線、ストリーマユニットの針で手を切るおそれがあります。

内容	ユニット1		
	① イオン化枠	② イオン化線	③ 対向極板
各部品を取り外す。	▶31ページ		▶31ページ
掃除機などで表面のホコリを吸い取る。 吸い取る ▼			
ぬるま湯または水につけおきする。(約1時間) ぬるま湯・水 つけおき ▼			
布またはやわらかいブラシなどで汚れを落とす。 ゴム手袋を使用してください。 汚れを落とす ▼	ふき取る ゴム手袋使用 (詳細は下図①②)		こすり洗い ゴム手袋使用
流水ですすぎ水気を切る。 ▼			
風通しのよい日陰で乾燥させる。(約1日) ▼			
各部品を取り付ける。	▶31ページ		▶31ページ

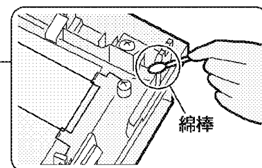
①イオン化枠(つけおき後、乾燥する前に行ってください。)

- やわらかい布で樹脂部の汚れを落としてください。
- 凹凸があり指が入りにくい部分は綿棒などで汚れをふき取ってください。
- 布などのせんいクズが残らないようにしてください。
  誤作動の原因になります。





ゴム手袋使用



凹凸がある部分は綿棒などで汚れをふき取ってください。